

授業科目

福祉・保育・健診実習

担当教員名 阿部 春樹 他	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	3	時間数	135

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

高齢者および幼児との関わりを通して利用者の理解とニーズの把握し、社会福祉現場での多職種間のチームアプローチの実際からそれぞれの職種の役割を学ぶ。利用者・児さらに他職種との円滑な人間関係の形成を学習する。
乳幼児期の心身の発達過程、高齢者の心理についての理解を深め、コミュニケーションのとり方について学び、さらに弱視の予防・早期発見、幼年視覚の可塑性、視覚の加齢現象などの理解に努める。

授業の目的

高齢者および幼児の特性を理解し、視覚機能の重要性や目の愛護ディの由来をレクチャーすることから、様々な年齢層との接し方を学ぶ。

学習目標

1. 福祉、保育や健診施設のそれぞれの特徴が理解できる。
2. 職業人として、常識的な態度や行動をとることができる。
3. 対象者や実習指導者と良好な人間関係を築くことができる。
4. 職業倫理を学び、対象者の方の状況に配慮した適切な基本的態度を実践できる。
5. 他職種との連携が理解できる。
6. 幼児の視覚機能の発達、視覚の加齢現象を理解し説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
	実習の事前指導	演習	阿部 春樹 他
1～68	新潟県内外の福祉・保育・健診施設で実習を行う。	実習	各施設の実習指導者
	実習報告会(実習のまとめ)	演習	阿部 春樹 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	プリント、実習の手引きを配布する。					

評価方法

実習態度：50%
実習記録、ルーブリック：50%

履修上の留意点

実習の手引きを熟読して実習に参加すること。

オフィスアワー・連絡先

月～金曜日の12時～13時
P201
直通電話番号 025-257-4752
shikinou@nuhw.ac.jp